

地域水田農業ビジョンの特徴的な取組事例 ～ 利用権を設定して効率生産～

～ 美川町農業経営生産対策会議 ～

地域の概要

美川町農業経営生産対策会議は、石川県石川郡美川町を範囲とする協議会
美川町は石川県の西南部に位置し、手取川の流域河口部にあり、総面積の30%が水田
水田の圃場整備率は85%に達し一戸当たり経営面積は1.6ha
水稻単作地帯であり、兼業農家率が95%



取組の内容

特徴的な取組：担い手の利用権設定に対して助成する

兼業農家が多く、規模が小さいため補助事業の要件もなかなか満たせない状況にあり、少しでも担い手に農地を集積できないかと考えた
担い手リストに掲載されている者が6年以上の利用権を設定した場合、10a当たり5,000円を助成する
平成16年度においては1戸のみで、面積は50a



(利用権設定の会議)



(美川町のほ場)

地域における問題点等

担い手に用途を限定したことから認定農業者が3戸増えた。
美川町の基本構想では1経営体500万円としている。
農業者に規模拡大を図ろうとする意欲的な者が少ない。
賃借権についても、「権利設定しなければいけない。」といった意識が薄い。

今後の取組・予定

17年度については、単価・要件を見直し、より一層の利用権設定に結びつけたい。
6年以上の設定 3年以上の設定に。10a当たり5,000円を20,000円にする予定。

地域の声

利用権については、設定しなければという意識がまだまだ薄いのが、産地づくり交付金を活かして、引き続き取組んでいきたい。
規模拡大による生産コストの低減も視野に入れ、取組みを推進したい。
担い手の支援と掘り起こしにつながる取組みとしていきたい。